別　紙 2

女川原子力発電所３号機　第５回定期検査の状況

（平成２１年５月分）

１．定期検査の進捗状況

女川原子力発電所３号機は、平成２０年１１月２６日より第５回定期検査を実施しております。

これまでに起動前試験が完了し、５月２８日から系統構成を行っておりましたが、同日午後２時３３分頃、制御棒駆動水圧系の復旧作業を実施していたところ、制御棒が所定の位置にない状態となったことを示す警報が発生しました。

直ちに、当該制御棒は所定の位置である全挿入位置にあることを確認し、警報を復旧しました。

本警報は、１３７本ある制御棒のうちの１本が全挿入位置から、さらに挿入側に動作（過挿入）したことにより発生したものと判断しました。

現在、原因を調査中です。

なお、制御棒は全挿入状態にあり原子炉の安全上の問題はありません。また、この事象による発電所周辺への放射能の影響はありません（平成２１年５月２８日お知らせ済み）。

（添付－１　女川原子力発電所３号機　第５回定期検査　主要点検工程表　参照）

２．主要機器の点検状況

主な機器の点検状況は以下のとおりです。

（１）配管減肉に係る検査

原子炉系およびタービン系の配管約１，８００箇所について肉厚測定検査を実施した結果、大きな減肉はなく安全性が確認されていることを確認しました。

（２）耐震裕度向上工事

更なる耐震安全性の向上を図るため、自主的に設備の耐震裕度向上工事を実施していました。その結果、約２，１００箇所（機械関係：約５００、電気関係：約１，５００、計装関係：約１００）について、安全上重要な配管・電路類等の支持構造物（サポート）の取り付けを完了しました。

３．トラブルに該当しないひび、傷等の状況について

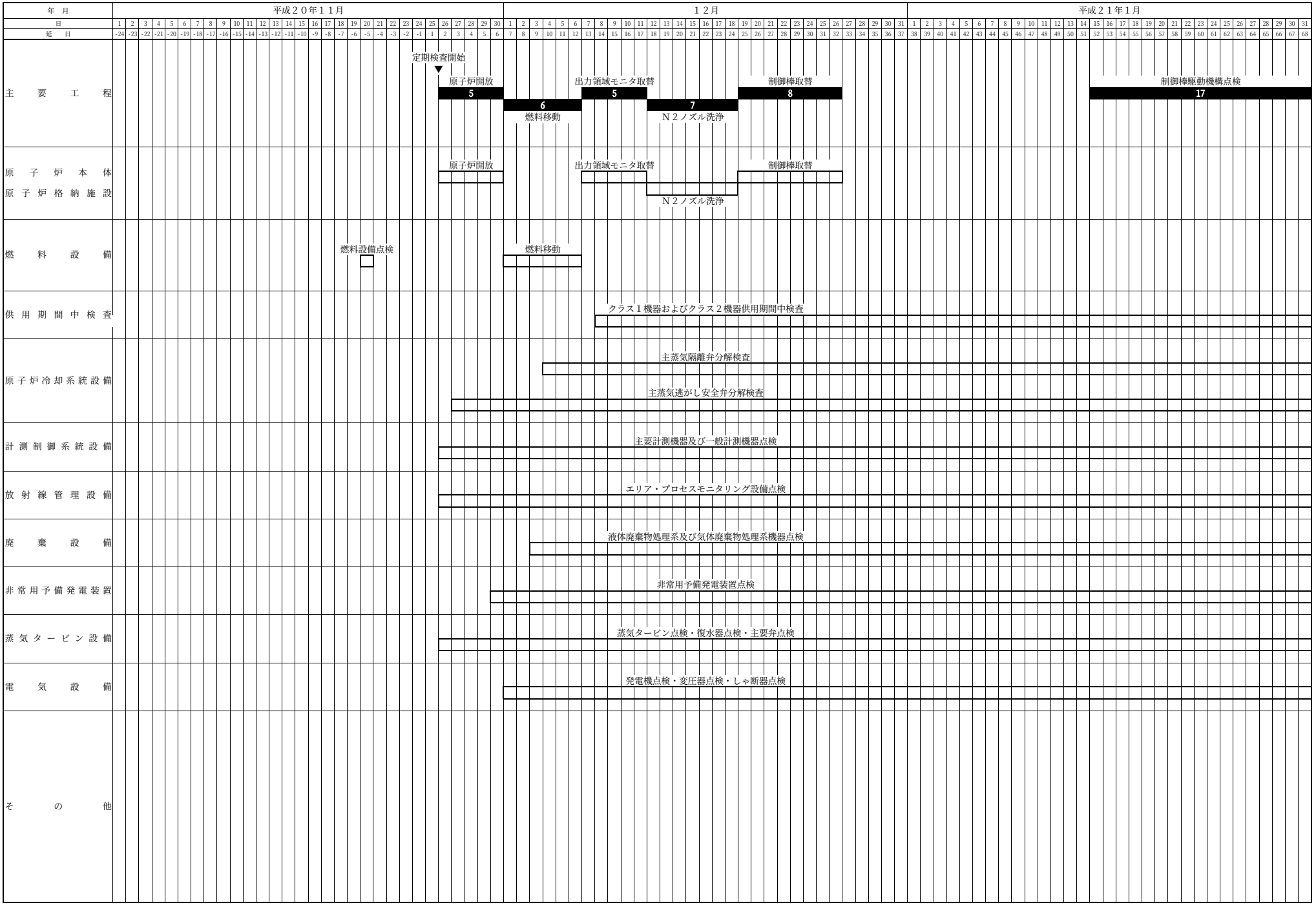
（１）既報告の主要機器の点検で、５月中に補修等の作業が終了したものは下表のとおりです。

（詳細については、添付－２参照）

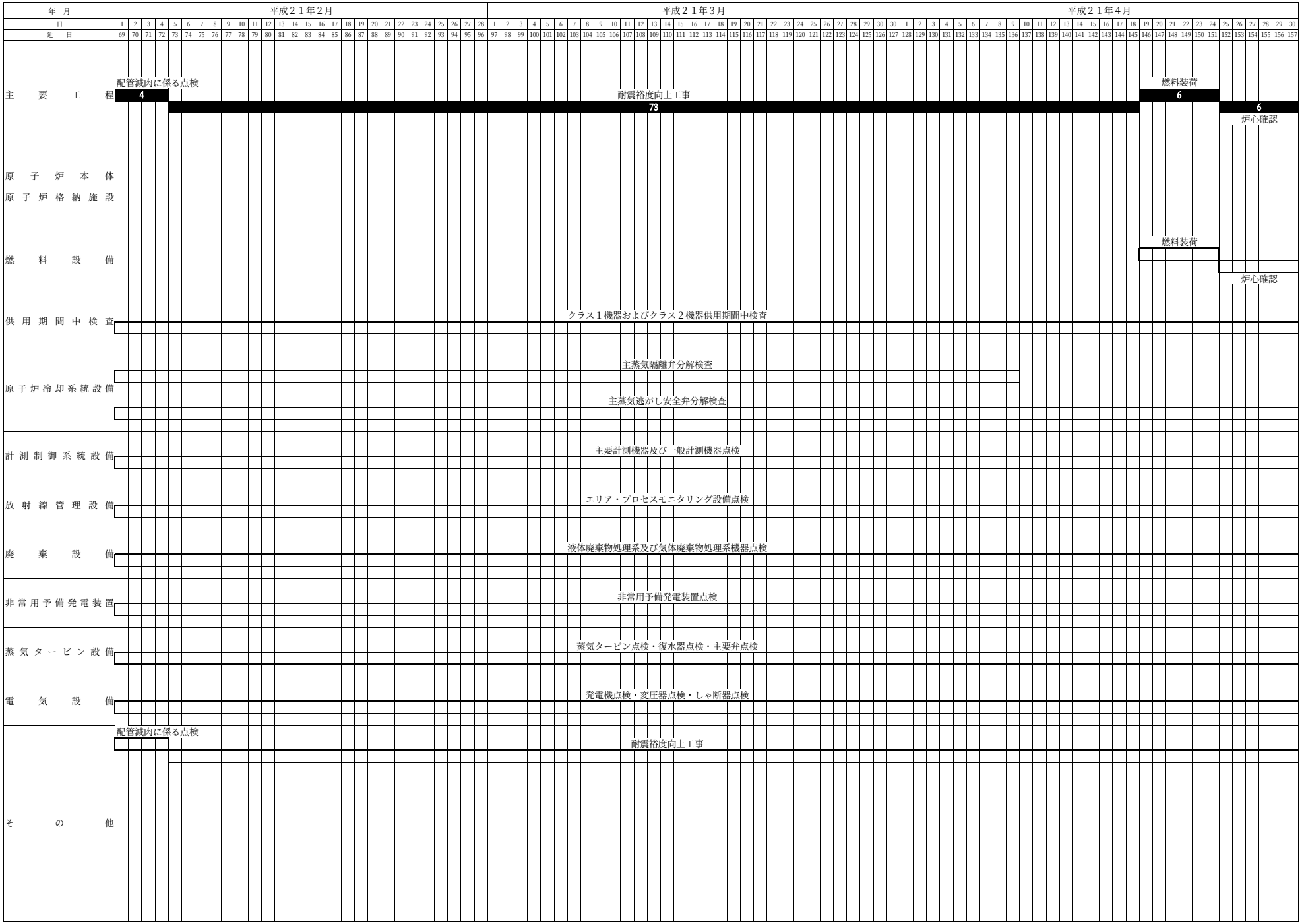
報告時期、報告 No.	件　　名	作業終了日	備　考
平成２１年４月分 Ｎｏ．３（改）	高圧炉心スプレイ系弁から下流側配管へのしみ出しについて	５月２０日	添付－２

以　上

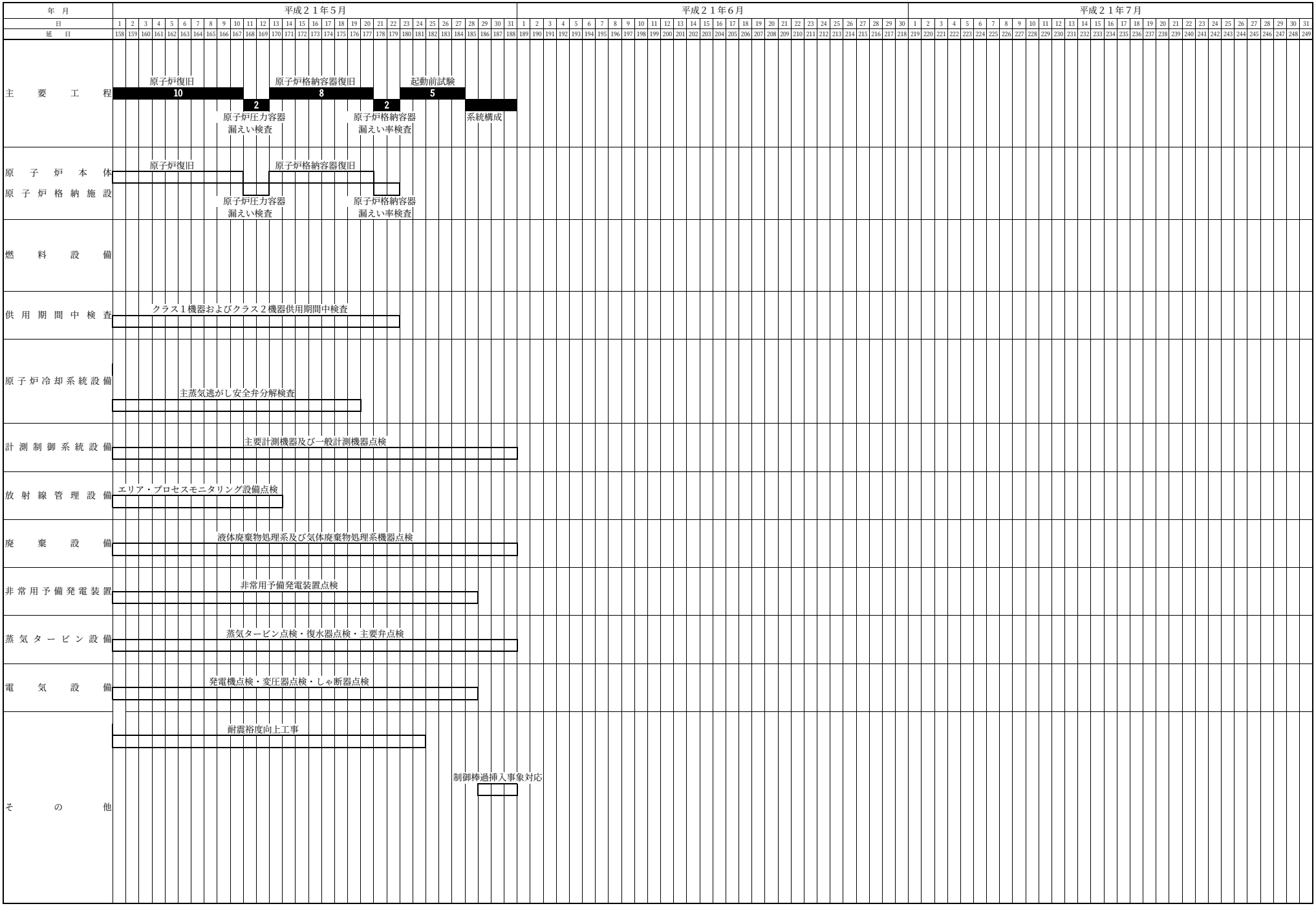
女川原子力発電所３号機　第５回定期検査　主要点検工程表



女川原子力発電所３号機　第５回定期検査　主要点検工程表



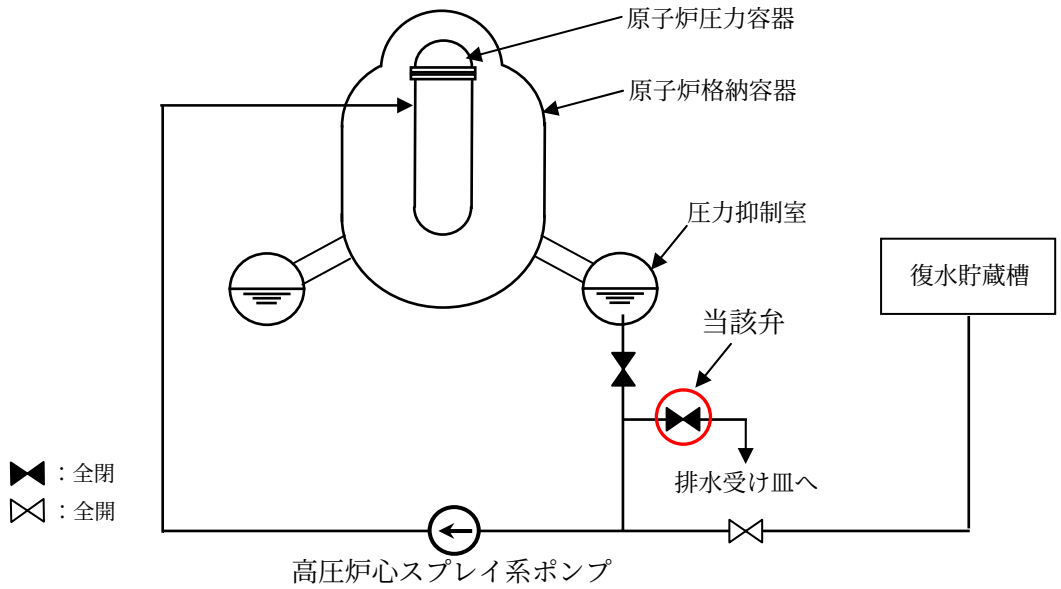
女川原子力発電所３号機　第５回定期検査　主要点検工程表



女川原子力発電所　定期検査・主要機器点検情報

Ｎｏ．３（改）　　（平成２１年４月分）

号　　機	３号機		定 期 検 査	第５回定期検査	
件　　名	高圧炉心スプレイ系弁から下流側配管へのしみ出しについて（対応結果）				
月　　日	平成２１年4月２２日（水）		発　生	発　見	確　認
場　　所	原子炉建屋	設　　備	高圧炉心スプレイ系	設備区分	安全上重要な系統
設 備 概 要	高圧炉心スプレイ系は、非常用炉心冷却系を構成する系統の一つで、原子炉冷却材喪失事故時に高圧力で冷却水を炉内にスプレイすることにより、炉心を冷却する系統です。				
所　　見	・ 平成２１年４月２２日に、高圧炉心スプレイ系ポンプ吸込ラインドレン弁（以下、「当該弁」という。）のシート部から下流側配管を通じて排水受け皿へ水が僅かにしみ出していることを発見しておりましたが、分解点検を実施したところ、弁座および弁体シート面に錆等が確認されたことから、手入れを行いました（５月１８日）。 ・ その後、漏えい試験を行いしみ出しがないことを確認しました（５月２０日）。				



高圧炉心スプレイ系　系統概略図